



東京 CPB 総会

**2015年6月20日(土)14:00 から
 新宿 ASKビルにて**

新しい融資のしくみを開発

東京 CPB「100%ともだち融資団」が2つできました!!

2014年、設立11年目の東京CPBは**新しい融資のしくみ**を開発しました。特定の団体のために「新しい個別の財源」をつくり融資する、「100%ともだち融資団」です。

東京 CPBは基本的に資金を利用したい人が出資者になり、出資額に応じて融資を受けることができます。通常のしくみ以外に、4人以上の出資者を集めると合計出資額の10倍(上限1000万円まで)までの融資を通常より低金利で受けることができる、「ともだち融資団」というしくみを持っています。これはバングラデシュのグラミンバンクの手法を導入した**東京CPB独自の**方式です。

今回は、この「ともだち融資団」を発展させて、融資に必要な個別の財源を、原則としてすべて「ともだち(出資者)」で確保して融資する「100%ともだち融資団」を開発しました。

この方式は、最初に融資を希望する団体を審査し、融資可能と判断した場合は東京CPBも団体と一緒に「ともだち」募集を行います。また、すでに東京CPBに出資している人でも、この団体を支援したい場合は通常融資から移すこともできます。

「100%ともだち融資団」の出資者は、当該団体が借りたお金を返済するまで、出資金を引き上げることがで

きないのですが、東京CPBにとっては、一般の融資財源を原則として使わないので、その分リスクが低くなり、金利を引き下げることが可能になるのです。



ケアプランの作成は当事者主権で

ですから「100%ともだち融資団」は、団体にとっても、東京CPBにとっても有利な条件での融資を可能にすることができます。また、出資者にとっては、団体への支援の気持ちをより明確に表すことができるのです。

第1号となった「(特非)ACT・人とまちづくり」は、独立型の居宅介護支援事業(おもに介護保険のケアプラン作成・点検)を行う福祉NPOです。

第2号の「環境まちづくりNPOエコメッセ」は、リユース/リサイクルショップを運営し、地域の環境活動に貢献する環境NPOです。

「100%ともだち融資団」を利用する団体は、資金を幅広く集めることができるだけでなく、出資者募集活動を通じて、事業計画を明確にし、活動を周辺にアピールすることができます。なにより、資金確保の業務を東京CPBに任せ、本業の地域活動に専念できるようになるのです。

今回は、この2つの「100%ともだち融資団」を通して、東京CPBを多くの方々に知っていただくことにもつながりました。



エコメッセ推奨のソーラークッカー



エコメッセ店内

あなたのお金が NPO の活動を支えています ～ 融資報告～

(特非)ACT・人とまちづくり



<主な事業>

独立した組織として居宅介護支援事業(おもに介護保険のケアプラン作成・点検)を行っています。自立した個人の尊厳を守るため、利用者の自己決定を最優先にケアプランを作成し、課題を地域とともに解決することをめざしています。

<融資内容>

(特非)アビリティクラブたすけあい内の事業でしたが、2014年10月、ケアマネージャー達を中心となって新しい団体を立ち上げました。地域のワーカーズ・コレクティブ(働く人の協同組合)として地域密着のまちづくりを今まで以上にすすめるためです。

東京 CPB は立ち上げに必要な最初の人件費と運転資金、総額 1,000 万円を「100%ともだち融資団」として新たに集め、融資することを決めました。団体で働くメンバーはもちろん、理念に賛同する多くの人たちから出資金を募り、目標の 1,000 万円を集めることができました。

これから東京 CPB は、「100%ともだち融資団」の意義を深めるために、融資先(特非)ACT・人とまちづくりと出資者たちが「お金のつながりからお金以外のつながり」を持つことができるようなお手伝いをしていきます。

●融資日：2014年9月22日 ●融資金額:1,000万円●金利：1.5%●返済方法：元利均等月賦返済●期間60か月

(特非)環境まちづくり NPO エコメッセ



<主な事業>

環境循環型社会をめざし、リユースショップを経営し、その収益や寄付金を太陽光発電施設の設置や植栽運動等の資金に充てています。また、リユースショップは地域の交流の場、ほっとできる居場所になることをめざしています。

<融資内容>

新店舗(中野区上高田、最寄り駅:西武新宿線新井薬師前)の開設資金



●融資日：2014年12月27日 ●融資金額330万円●金利：1.5% ●返済方法：元利均等月賦返済 ●期間60か月

(特非)杉並アヤックスサッカークラブ

<主な事業>

サッカーを通じた青少年の健全育成を図る活動、スポーツ文化の普及振興、環境整備と地域コミュニティの活性化や公共施設の芝生管理事業。

<融資内容>

ハイブリッド型天然芝導入のための初期費用(機器購入、芝生種子、苗、肥料、砂購入資金)として



●融資日：2015年1月27日●融資金額:300万円●金利：2.5%●返済方法：元利均等月賦返済●期間36か月

あなたのお金が NPO の活動を支えています ～ 融資報告～

逢瀬いなか体験交流協議会

<主な事業>

原発被害にて存続危機の福島県内の農村を活性化するための事業

<融資内容>

農林水産省「都市農村共生・対流総合対策交付金事業」により大学生を対象とした農家民宿・研修事業『大学生向け研修プログラム』を開発するための資金として。

事業補助金交付までのつなぎ資金



●融資日：2014年10月27日 ●融資金額 400万円 ●金利：1.5% ●返済方法：元利一括返済 ●期間 8か月

一般社団法人JEAN

<主な事業>

海洋ごみ問題に関わる情報の収集および発信。

全国でのグリーンアップ活動のとりまとめや、海外環境保護団体とも連携した漂着・散乱ごみの調査集計分析や、講演活動、勉強会、広報活動を行っています。

<融資内容>

東日本大震災ではガレキが海洋へ流失し北米西岸まで漂着しています。この洋上漂流物への対応を民間団体間で連携推進するための調査研究、情報収集を行うとともに、カナダ・日本国内でシンポジウムを開催し情報共有と意見交換を行います。

環境省「東日本大震災に伴う洋上漂流物に関する海外動向調査」事業のつなぎ資金



●融資日：2014年10月27日 ●融資金額 900万円 ●金利：1.5% ●返済方法：元利一括返済 ●期間 7か月

(特非)環境エネルギー政策研究所

<主な事業>

持続可能なエネルギー政策の実現をめざし、自然エネルギーや省エネルギーの推進のための国政への政策提言、地方自治体へのアドバイス、国際会議やシンポジウムの主催を行っている他、欧米、アジア各国とのネットワークを活用した海外情報の紹介や、人的交流などを行っています。

また、市民ファンドを活用した、市民風車、太陽光発電事業なども発案しています。

<融資内容>

環境省 先導的「低炭素・循環・自然発生」地域創出事業のためのつなぎ資金



●融資日：2015年1月27日 ●融資金額 1,000万円 ●金利：1.5% ●返済方法：元利分割返済(2回) ●期間 5か月

祝 完済!!

(特非)食事サービス加多厨が2015年2月に完済しました!! (500万円 5年)

お金の授業～お金を賢く使う人になろう～

3月13日、都内の中学校で「お金の授業～お金を賢く使う人に～」の講師を、副理事長植田泉、小山美香、理事長坪井眞里が務めました。

卒業間近の中学三年生を対象に、前半は、お金の様々なトラブル～クレジットカードのトラブル、ネット詐欺など～を学んでもらいました。

「いつも危険と隣り合わせ、便利なものには気をつけよう」、「リボ払いはいはこわい」、「責任を持って行動した



い」という感想に、これから社会に出る皆さんの役に立てたかな、と思いました。

後半は各クラスで「社会問題を解決するお金」ワークショップ。

「ユニセフ」「世界環境基金」「あしなが育英会」という、社会問題を解決する団体の中から寄付先を選ぶ、ワークショップを行いました。

「私たちが当たり前に行っていることをできない人が世界には大勢いることを知った」

「自分だけ良ければよいという考えを捨てて、周りを見ることの大切さを学んだ」

また、班での話し合いについては、

「みんなそれぞれ意見があっていいと思った」「『なんとなく』寄付するのはよくない。」などたくさんの感想をいただきました。

「お金」を通して、人生を自分の意志で切り開く大切さを感じてもらえたのですが、受け止めてくれた中学3年生の皆さんに感謝です。

報告： 理事長 坪井眞里

ファンドレイジング日本 2015 報告①

東京 CPB 運営に生かすために学んできました

報告： 浅野幸子さん(東京 CPB 理事・大学非常勤講師)

・早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」客員研究員

ファンドレイジング＝資金調達のこと。活動資金集めに苦勞している NPO や NGO が、どのように寄付や出資を集めるかを考える 2 日間のイベント。「資金を集めることは共感を集めること」、というコンセプトで海外事情、広報、組織基盤の強化、IT 活用など 50 以上の講座や交流会が企画され、東京 CPB から 3 人の理事が参加した。

■今こそリアルな助成金の活用

～投資としての助成金の生かし方

講師：(特非)CANPAN センター 常務理事 山田泰久さん

助成金は消費するにあらず、投資すべし(ただ使ってしまうのではなく最大限活用すべし)。このセッションの趣旨を一言でいえばこう表せるでしょう。

助成金獲得はあくまで通過点であり、それをどう活用するか、つまり団体や活動のさらなる発展に寄与するのか、そして広く地域や社会に還元する形で生かされているかということが問われている、ということです。

しかし実際には、事業ができれば良しとしがちな申請者と、助成事業が終わったあとに何が残るの

か・何が変わるのか?と考える審査担当者の中に、ギャップが生じる結果になる傾向にあるわけです。

従来は助成事業が終わった後に、成果報告を行うというのが一般的でしたが、申請が通ったことを PR し事業を宣言することで、助成金を得るだけの団体の価値があるということを示すことができる、と山田さんは言います。

他にも、団体内のモチベーションやスキルアップにつなげる、助成事業という名のキャンペーンを通して、自治体・公益分野・助成期間関係者に団体の周知を図るなど、お金以外の助成金の価値・意義についてわかりやすく解説いただきました。

出資・増資について

東京 CPB に出資したいという方を紹介してください。資料・加入申込書等お送りします。

増資をご希望の方も、ご連絡をお待ちしています。

サポート会費について

低金利で社会的事業に融資をする東京 CPB は、皆様からのサポート会費で運営しています。

ご協力お願いいたします。

(一口千円とさせていただきます)

実績表 2015年2月28日現在

◆会員数・出資金

◆個人会員数：603名 ◆団体会員数：47団体

◆出資金：1億510万円

◆融資・社会的投資(2014年度)

◆融資件数：8件 ◆融資残高：5,486万円

◆累計融資件数：65件 ◆融資累計額：2億8,463万円

社会的投資額：2,300万円

◆サポート会費ありがとうございます!

団体：1件 個人：52名 計227,000円